



子どもの心に寄り添う

教頭 涌井 剛

2学期が始まり1か月が経過しました。子どもたちの笑顔を見ることができてとてもうれしく思います。

先日、小学部低学年のあるクラスの「朝の会」を見ていたら先生と子どもとの間に次のようなやり取りがありました。

先生が「〇〇さんおやすみで一す」といって日直さんの子どもは「さみしいね」と答えました。その後先生が「明日来てくれるといいね」と笑顔で言いながら名前カードをお家のボックスにしまいました。

何気ないやり取りなのですが、友達がいないさみしさを言葉や表情に出して表現できるって素晴らしいなと思いました。うれしい、悲しい、さみしい、楽しいという気持ちに寄り添うことで、子どもの力が高まるのだと思います。

コロナ禍の中でも「朝の会」は毎日あります。子どもの心に寄り添い、成長させる貴重な時間だと思いました。

各学部より

中学部

高等部

コロナに負けない！

今年度はコロナ禍での活動となり、色々な面で特別な学習スタイルをとることになってしまいました。

中でも夏休みが短くなり、8月後半から2学期も始まりましたが、中学部のみんなは元気に登校して、特別な日課にも対応できていてビックリさせられました。1年生は学年会でゲームをしたり、2年生はお楽しみ会やかき氷会で盛り上がりました！3年生は夏祭りをテーマにみんなグッズを作って、楽しくお祭りをしました。それぞれの学年ごとに個性あふれる2学期がスタートできました～！



《小中学部の保護者の方へお知らせ》

埼玉県教育委員会に報告するため、令和3年度4月当初に

- ① 転居等によって、本校以外の知的特別支援学校に転学
- ② 知的特別支援学校以外の特別支援学校に転学
- ③ 市町村立小中学校に転学

いずれかの希望、予定がある小中学部の保護者の方は

10月16日(金)までに必ず担任にお知らせください。

担当：就学相談委員会・藤本

作業学習特集！

2学期が始まり、新しい作業班での活動にも慣れてきました。生徒一人一人が、それぞれの仕事に精一杯取り組んでいます。

- ・縫製班では、様々な模様の刺し子布巾を縫っています。
- ・陶芸班では、皿や茶碗、箸置きなど使い勝手のいい製品作りを行っています。
- ・木工班では、ベンチやタイル製品、カレンダー一台、メモスタンド、キーホルダー作りなど様々な製品作りをしています。
- ・畑班では、きゅうりやなす、スイカなどの夏野菜の収穫や、大根の種まき、白菜の苗植えなどに取り組んでいます。
- ・花班では、かすみ草や金盞花の苗を育てたり、ラベンダーのポプリを作ったりしています。
- ・ワーク班では、缶つぶし機を使って、学校で集まった沢山のアルミ缶をつぶしています。
- ・紙すき班では、すいた紙でメモ帳やはがき作りに取り組んでいます。

機会がありましたら、ぜひ生徒が作った製品をお買い求めいただければと思います。



☆HPについて☆

久喜特支のHPに、「防災ルーム」というコーナーを新設しました。本校の防災に関する取り組みを紹介します。まずは、本校の災害時用の備蓄品一覧を載せました。チェックしてみてください。